

ラムサール条約湿地涸沼への水鳥・湿地センターの整備 並びに自然環境の保全及び賢明な利用の促進について

＜提案・要望先＞ 環境省

＜提案・要望の内容＞

涸沼は関東唯一の汽水湖であり、スズガモなどの多数のカモ類の渡来が確認されている他、オオワシ、オオタカ、オオセッカなど、88種以上の鳥類が確認されており、平成26年11月から国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定されております。また、魚類ではニホンウナギ、昆虫類ではヒヌマイトトンボなどの絶滅のおそれのある種の生息が確認されております。

また、平成27年5月には、涸沼を特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地として、そこに生息する動植物の保全と、その賢明な利用（ワイズユース）を促進することを目的とするラムサール条約へ登録されました。

つきましては、地域と一体となった涸沼の豊かな自然環境の保全と賢明な利用を通じた地域振興を図るため、下記事項を実施されるよう要望します。

記

- 1 涸沼の保全と賢明な利用，それらを支える交流・学習を推進する拠点施設として，水鳥・湿地センターを整備すること。
- 2 自然環境の保全及び湿地の賢明な利用を通じた地域振興を実施するための支援を行うこと。